

囲碁将棋部の活躍が、神戸新聞に掲載されました

9月17日（土）神戸新聞朝刊に、本校囲碁将棋部の玉作乙香さん（2年）の活躍が紹介されました。

8月1日（月）2日（火）に行われた、第46回全国高等学校総合文化祭東京大会「とうきょう総文2022」（囲碁部門）女子個人の部で優勝したことについて取材していただきました。

神戸新聞 2022年(令和4年)9月17日 土曜日 囲碁将棋 14

兵庫勢 男女とも頂点に

同日は、男女別に行われた個人戦は、都道府県大会を通過した各48人が1人6回ずつ対局。2回戦以降は勝ち数が同じ選手同士が対局し、最終的な勝ち数などで順位を決める。

宅見さんは昨年の全国高校囲碁連技大会（男子個人）で優勝。玉作さんも昨年、全国高校囲碁選手権大会（女子団体）で準優勝した経験がある強豪だ。

2人はともに3回戦まで全勝で通過。明日を決する第6回で宅見さんは高橋大地さん（神奈川）、玉作さんは長野優希さん（埼玉）と戦い、宅見さんは白番8目勝ちで、玉作さんは白番が目勝ちで、それぞれ全勝を挙げた。

優勝を決めた一冊を振り切る宅見悠作さん
神戸市東灘区・龍谷高校

宅見悠作さん（灘）



同じ教室出身の元院生 旧知の2人「喜びも倍」

玉作さんは「めちゃくちゃうれしかった、玉作さんは「うれしかったけど実感は湧かなかった」と優勝が決まった瞬間を振り返る。

2人に指導してきた梅田明幸センタ（大阪府北区の古谷路八段）は「院生経験者らがそろって高校生大会で頂点に立ったのは立派な成績。両者とも、高校卒業後もアマ大会への出場を続ける意欲が、宅見さんは「全国大会で上位を目指したい」、玉作さんは「大会を通じて、いろんな人と交流を築きたい」と未来を描いている。

玉作乙香さん（姫路西）



祝優勝

優勝を誇る梅田の元で喜びを語る玉作乙香さん
姫路西高等学校

最終局「会心の手」は

宅見悠作さんと玉作乙香さんに、優勝を決めた一局から、図の白1で、戦いや早く会心の手を挙げてもらった（両者とも白番）。宅見さんは男子個人戦連中、玉作さんは女子個人戦連中。



男子個人戦連中



女子個人戦連中

囲碁・将棋